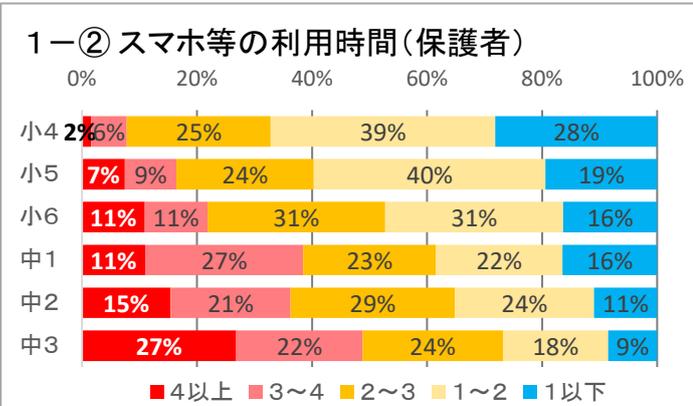
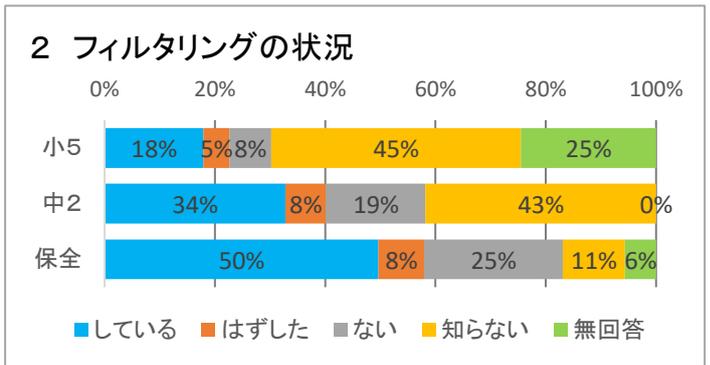
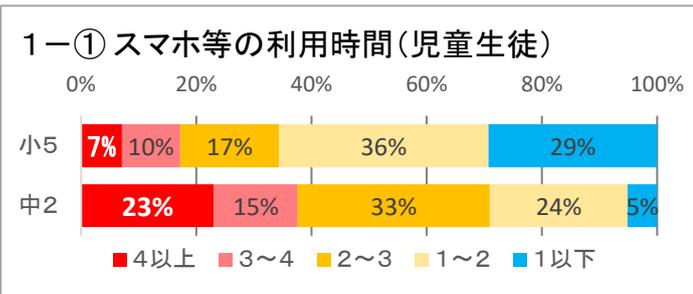
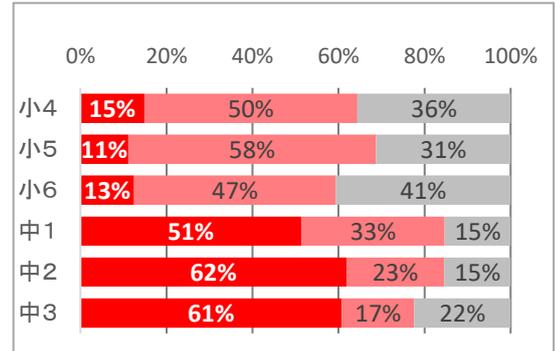
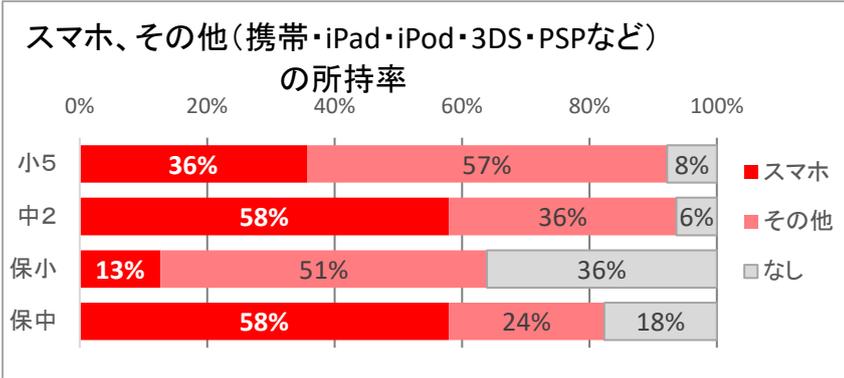


# 「スマホアンケート」平成30年秋 集計結果【ダイジェスト版】

H31.1

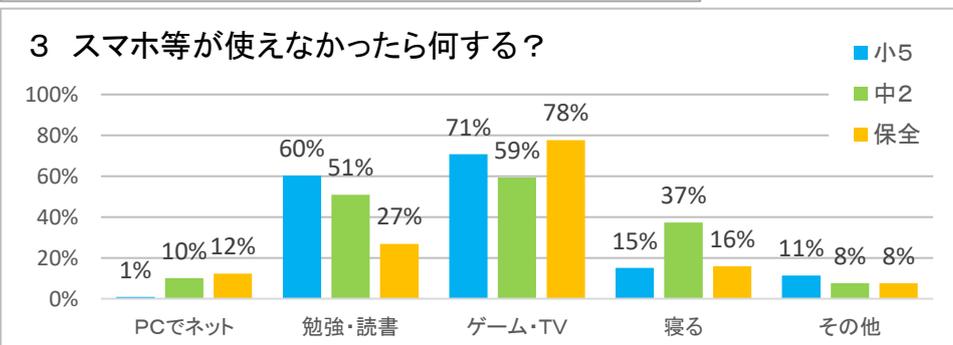
回答状況	児童生徒数	回答数	回答率
小学5年 児童	116	115	99%
中学2年 生徒	131	126	96%
小4～中3 保護者全体	752	626	83%

〔各学年の保護者の回答〕

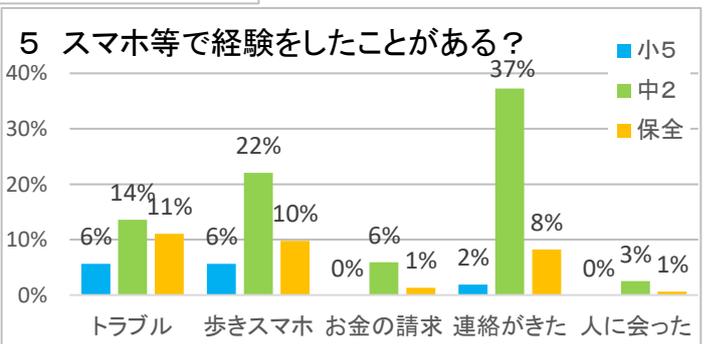
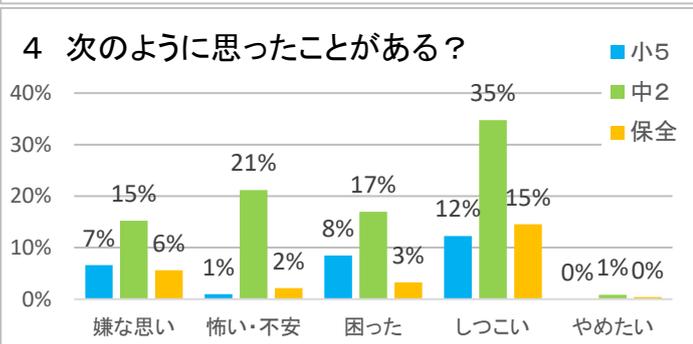


↑  
スマホの所持率が上がるにつれて、「知らない」が減少し、フィルタリングをしている傾向。一方で、「ない」も増加している。

←利用時間は学年が上がるにつれて増加  
※全国(H29内閣府調査)より長時間の結果

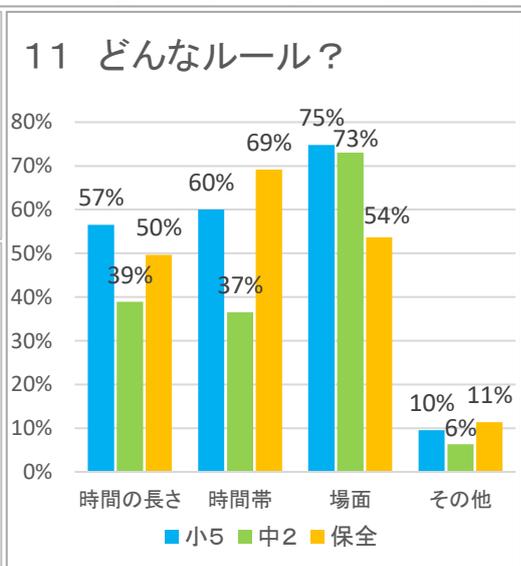
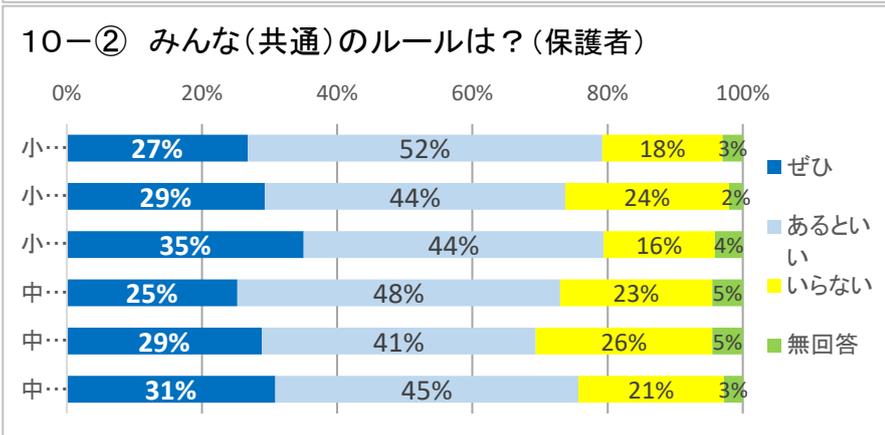
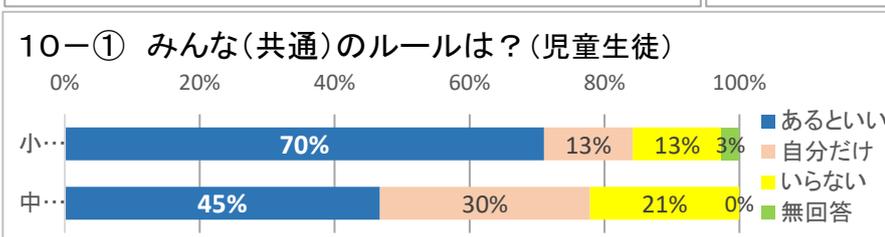
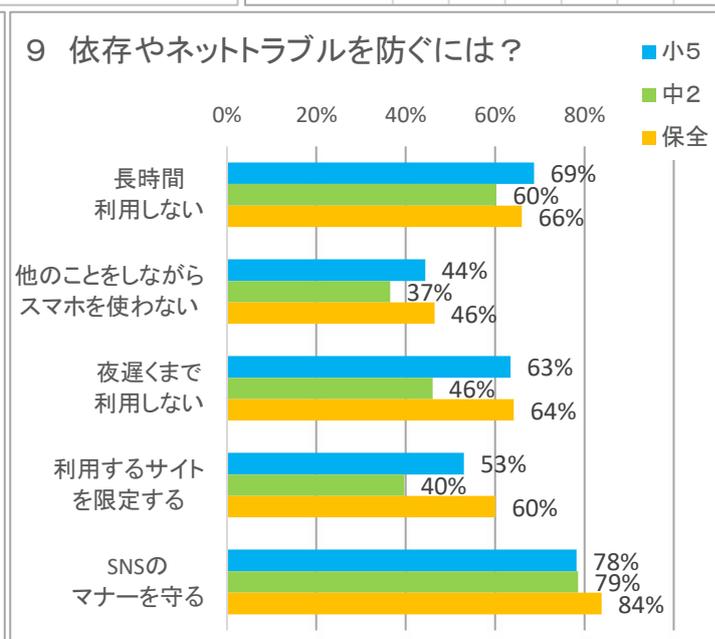
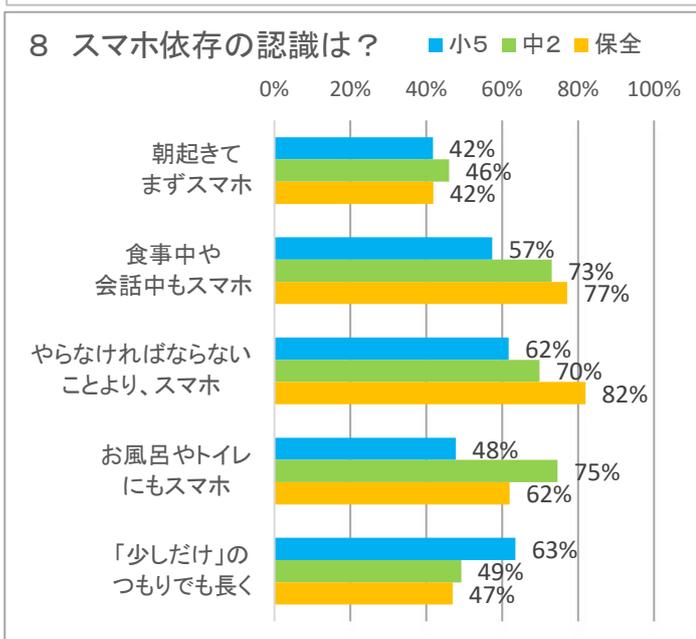
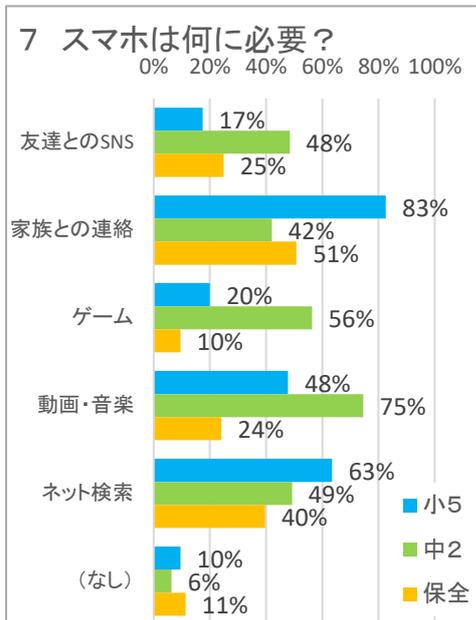
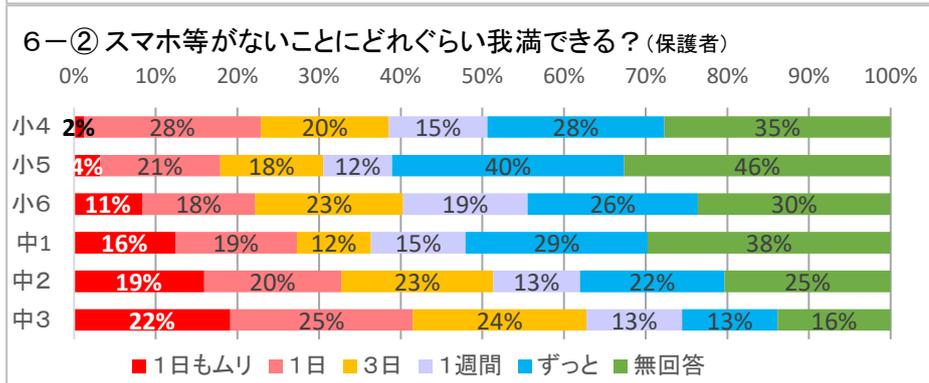
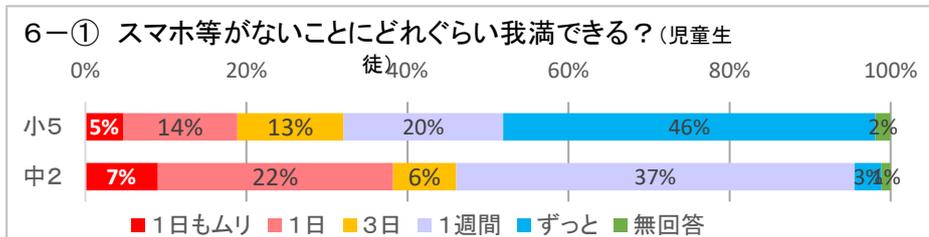


←スマホ等により影響を受けていることについて  
1位:「ゲーム・TV」  
2位:「勉強・読書」  
=学習面への影響  
3位:「寝る」  
=生活・健康面への影響



小学生より中学生の方がかなり多い。つまり、トラブルや何らかの被害にあう危険性が高い。

↓「我慢できない」というのは、依存傾向が高くなっているということ。



↑「その他」の記述で時間や場面以外のものはSNS(LINE)に関するものが多かった